

の 広報 ぼりぼ

●新入学児童の一日入学

1月27日から2月25日にかけて市内の小学校で新1年生の一日入学が行われました。今年市内では541名が入学を予定。2月8日若草小学校では、父母に手を引かれた新1年生が登校し、体育館で上級生と一緒にゲームを楽しんだり、教室で絵を書いたり、小学校の雰囲気をちょっぴり味わっていました。



特集

- ◆地震に備えて
- ◆市民リポート
私が考えた健康づくりのネットワーク
- ◆市民リポーター 高橋信彰
- ◆きらり
しんた21トレーニングルーム
最多利用
- 坂本富雄さん

3 / 1
1995
No.533

に備えて

最近、釧路沖・北海道南西沖・北海道東方沖・三陸はるか沖・岩手県沖・兵庫県南部など、各地で大きな地震が相次いで起こり、震源に近いところでは大変な被害を受けています。

登別市でも、

昭和43年5月16日十勝沖地震



昭和57年3月21日浦河沖地震

平成5年7月12日北海道南西沖地震

と、地震による人的被害を受けたことがあります。

今回は、地震に対してどのように備え対応するかを掲載します。

地震の揺れと被害想定 (気象庁震度階級)

| | | | | | |
|---------|------------------------------|---|---------|---------------------------------------|---|
| 0 無感 | 地震計に記録されるだけで、人体には感じない。 |  | 4 中震 | 家屋が激しく揺れ、歩行中の人すべてが感じる。不安定な花瓶などが倒れる。 |  |
| 1 微震 | 地震に敏感な人、静止している人が感じる程度。 |  | 5 強震 | 壁や石垣などが破損したり、家具類などが転倒することがある。 |  |
| 2 軽震 | 戸や障子がかすかに揺れる。静止している多くの人が感じる。 |  | 6 烈震 | 山崩れ、地割れが起こる。多くの人には立ってられない。家屋の倒壊が発生する。 |  |
| 3 弱震 | 家屋が揺れ、器の水が動く。歩行中の人にも感じる。 |  | 7 激震 | 家屋の倒壊が多発。断層が生じる。 |  |



家族防災会議

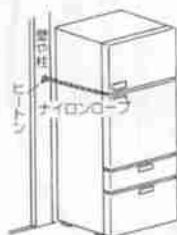
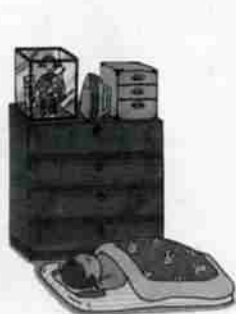
防災活動の最小単位は家族です。日ごろから役割分担などを話し合っておき、いざというとき家族みんなが適切な行動をとれるようにしておきましょう。

- ① 家具の転倒防止対策や家の中の整理整頓は
- ② 消火器、三角バケツなど消火の備えについては
- ③ 非常持出品のチェックは
- ④ 地震情報の入手方法は
- ⑤ 地震が起きたときの各自の役割は
- ⑥ 初期消火方法とその担当者は
- ⑦ お年寄りや子ども、病人などの世話役は
- ⑧ 避難場所はどこにするか
- ⑨ 避難途中の危険箇所は
- ⑩ 家族がバラバラになったときの連絡方法は

転倒・落下の防止

どんなに丈夫な建物の中においても、タンスや食器棚、ピアノなどが倒れたり、電化製品や照明器具が落ちてきてケガをする場合があります。家具類は転倒防止金具で壁に固定し、高いところにはできるだけ物を置かないようにするなど、家の中を総点検して、安全か

どうか確認し合いました。また、門柱やブロック塀は、倒れて避難するときの障害とならないように気を配り、危険なものは補強しましょう。



ナイロンロープ

ヒートンは中央の深い部分に
おしこむ
② 針金と反対方向に
おしこむ



ヒートンで
① 針金は
② 針金以上の太いものにする
③ 30cm以上の長さにする

地震



非常持出品の用意

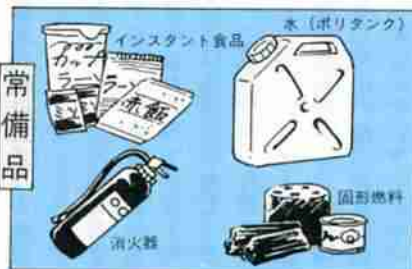
大きな地震が起きたとき、電気、ガス、水道などが使えなくなったり、食料などの日用品が不足することがあります。災害の規模によっては、物資などの救援活動が始まるまでに数日かかることも予想されます。

その間、生活していくに必要なものを、非常持出品や常備品（イラスト）として、みなさんが日ごろから用意しておくことが大切です。

例えば、飲料水の量は1人1日3リットル必要といわれています。また、風呂に水を入れておくと、トイレ用水・雑用水などに使えます。

薬は救急薬品を用意するほか、高血圧、心臓病、糖尿病などで薬を常用している人は、薬の処方せんのコピーを必ず用意しておきましょう。

ほかに、赤ちゃんの粉ミルクや紙おむつなども忘れずに用意しましょう。



津波に対する

5つの心得

1. 次のようなときには、すぐに海辺から離れ、急いで高台に避難しましょう。緊急の場合は3階以上の強固な建物に避難しましょう。
2. 正しい情報をラジオ、テレビや市の広報車などで入手しましょう。

避難勧告

（津波のとき）

3. 津波注意報でも、海水浴や釣りは危険なのでやめましょう。
4. 津波は繰り返し襲ってくるので警報、注意解除まで気を緩めないようにしましょう。
5. 避難場所や避難方法を日ごろから家族みんなで確認しておきましょう。

地震が起きて太平洋沿岸に津波注意報・警報が発表されたとき、市では海岸線の巡回、潮位の観測や気象庁をはじめとする関係機関からの津波についての情報収集を行います。

避難勧告は、この収集した情報をもとに、みなさんに危険がおよぶと判断した場合、市が行います。避難勧告を行ったときは、市内各所でサイレンを鳴らすとともに、広報車と消防車でみなさんにお知らせします。

避難勧告のサイレンは、1分間鳴り、5秒間休んで、また1分間鳴ります。繰り返し鳴りますので、サイレンが聞こえたときは、すぐに避難しましょう。そのときには、近所のお年寄りや身体の不自由な人などに声をかけて助け合いましょう。

市内の各避難所は、昨年の広報のぼりべつ8月号と9月号に掲載しています。

私が考えた健康づくりのネットワーク

市民の健康を管理する保健婦さんに心構えなどを取材したリポーター



市民リポーター **高橋 信彰** (富岸町)

朝、外が明るくなると、家の前から会話や笑い声が聞こえてくる。散策する人、軽くジョギングする人たちのトレーニングコースなのである。年配グループや夫婦の方、犬に引きずられながら歩いて行く人、亀田記念公園周辺をコースに取り入れて、毎朝健康づくりに励んでいる人たちである。

私自身、友人たちとバドミントンで気持ちよい汗を流しているが、自宅近くでこういう人たちを見かけるたびみなさんの健康への関心の高さを感じた。

今回市民リポートでは、市の健康づくりへの取り組みなどにスポットをあててみるとともに、こうあれば良いかなと思う健康づくりのネットワークづくりを私なりに考えてみた。

健康は財産

冬季、雪道になると外を運動の場としている人の姿を見ることは少なくなるが、年間を通して運動を続ける市民の数は相当なものだろう。

秋も終わりに近いころ「毎日よく続きますね」と行き交う人たちに声を掛けてみた。「一日でも欠かすとその日は体調が思わしくないんです」「歩き終わった後の食事はとてもおいしいですよ。体重も増えて病気知らずです」「夫婦で四季の草花や山の緑の変化を観察しながら楽しんでます。今では山野草の趣味を持つようになりました」。

健康の自己管理というと堅苦しいが、この人たちは、健康づくりを日常生活に組み入れ、日々を楽しく過ごしているのだろう。私も健康チェックのために1か月前、健康診査を受けた。年1

度の注意事項でもあり、結果が出るまで心配が付きまとい、視力、聴力、尿、血液の検査、胸部X線撮影、心電図、バリウム、胃透視を終え、最後に総合診断である。うなずいてホッとして帰る人が多いが、顔色が変わる人も中にはいる。「健康は財産」なのだが、財産を保持するために、終始努力し続けなければならないことを強く感じた。

市の健康づくりの取り組み

市民の健康づくりは、軽運動から歩け歩け運動、スポーツ活動、趣味の会活動、ボランティア活動、食への健康法、心身鍛錬法など、仲間づくりや社会参加を通して、生活に潤いを与えるようにいろいろな工夫がこらされている。

ここで、市では市民の健康づくりのために、どのような事業を行っているのかを保健福祉課の資料

各種検診別受診者数 (単位:人)

| 検診別 | 年度別 | | | | | 受診率 | |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------|-------------------|
| | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度見込 | 6年度見込と2年度の対比 | 6年度見込と5年度の対比 |
| 基本健康診査 | 1,088 | 1,086 | 1,144 | 1,356 | 1,380 | 1.27 ^併 | 1.02 ^併 |
| 各種ガン検査 | 4,401 | 4,586 | 4,323 | 5,293 | 6,010 | 1.37 | 1.14 |
| 健康教育 | 2,148 | 1,723 | 1,480 | 2,550 | 3,600 | 1.68 | 1.41 |
| 健康相談(成人) | 2,087 | 1,947 | 1,918 | 2,295 | 2,900 | 1.39 | 1.26 |
| 訪問指導(延寝たぎり者) | 165 | 190 | 377 | 456 | 520 | 3.15 | 1.14 |
| 機能訓練 | 169 | 155 | 181 | 182 | 920 | 5.44 | 5.05 |

で調べてみた。

乳児や就学前児童の健診と保健指導、児童・生徒の学校保健事業、妊産婦相談、結核健診、成人・高齢者の健康教育・健康相談・健康診査、機能訓練、各種ガン検診、寝たきり者の訪問指導など、きめ細かい事業や活動が組み込まれている。

これらの事業活動のうち、主な実績を拾ってみたのが次の図表である。

市民の健康アドバイザー役 保健婦さん

図表の中で際立って目につくのが、平成2年度と平成6年度見込みを比較した場合の数値で、全検診項目にわたって受診率が上昇していることである。

この数字は、市民の健康管理に対する意識高揚と、市の保健衛生事業がうまくかみ合った成果だと思いが、第一線で活躍している市民の健康アドバイザー役保健婦さんの力も大きく影響している。保健婦さんは、市内各所で行う



▲6人の保健婦が市民の健康管理を受け持つ

「機会をつくり、地域に入っていく保健婦本来の姿を忘れずに、市民の健康意識を高めるのが使命と思っています。でも、相手の意識を変えようというこ

健康相談やガン検診、市内全域にわたっての在宅訪問指導など、年間のスケジュールをこなしている。

1年前、総合福祉センター・しんた21がオープンし、保健福祉事業の拠点ができあがった。施設の整備とともに、しんた21を中心とする事業活動のウエイトが高まっている。健康カレンダーから拾って見たが、各検診など個別地区や登別地区などの開催に比べ、全体の48割をしんた21が受け持つ計画になっている。

6名の保健婦さんも、この施設を中心として市内34の町を分担し、5万7千市民の健康管理に奔走し続けている。単純にみてもひとりの保健婦さんが担当する市民は（学校保健事業該当の児童生徒約8千人を除く）約8千200人にもなる。本당にご苦労さんと頭が下がる思いである。

私は、しんた21を利用したとき、保健婦さんに、市民の健康を守るための心構えについて聞いてみた。

「機会をつくり、地域に入っていく保健婦本来の姿を忘れずに、市民の健康意識を高めるのが使命と思っています。でも、相手の意識を変えようというこ

は、その人の生き方に触れることにもなりますので、押し付けではなく自然な形で健康づくりの意識が家庭や地域に広がるように努力しています」と、語ってくれた。

そして、「市民生活の中に健康に対する意識が根づいていって欲しいですね」とも言われた。

話を聞いていくうちに、ちょっと気になってきた。全国自治体の平均保健婦数と比べて、果たして人数はどうなのだろうか。保健福祉課では「法的に定められた人数の規定はなく、当市は事業量に応じて人数を増やす体制をとっている」という。そうであれば心配はないし、各町内会との健康づくりのパイプ役として保健推進員を委嘱し、保健婦の補佐役として実績を上げているのも事実である。

しかし、東西に細長く広がる市の地形から考えてみると、市内34の町に満遍なく市の健康づくりの取り組みを反映させるには、かなりの努力と市民の協力を要するのではないだろうか。そこで私なりの考えをまとめてみた。

血の通った サーブिसが 市民に還元される

別市健康づくり推進協議

会の存在を知った。同協議会は、医師や薬剤師など13名の委員で構成されていて、市の保健事業が市民ニーズにあった企画かどうか意見をもらう市民組織のことである。任期満了に伴う委員の委嘱状交付式で市長さんは、「高齢化社会の到来で、健康事業の市民参加を積極的にPRしていきたい」とあいさつされた。

私は、健康づくり推進協議会という立派な動脈的組織に、既存の保健推進員を「心の健康づくりの協力者」とし、一方、健康づくりに関心の強い歩け歩け運動の仲間たち、ジョギングの友だち、スポーツグループ、ゲートボールや唄・踊りの会など、さまざまな形で健康づくりにいそ

しむ人たちの中から先駆的な協力者として「健康づくり推進員」を位置づける。毛細血管のように市内すみずみまで行きわたる有機的な健康ネットワークを確立させて、健康まつりなどイベント事業の活動を市民総意によって推進できるとなれば、より効果が挙がると思われる。

素人考えだが、こういう人たちに保健婦さんの負担の大きい地域へきめこまやかな対応に当たっていただく。こうすることによって、地域のボランティア活動と保健行政がスクラムを組み、血の通ったサーブिसが市民に還元されることになるだろう。やがては、それが発展的な「健康都市宣言」に結びつくという夢が浮かび上がってくるのであるが、いかなるものだろうか。

私は、健康づくり推進協議会という立派な動脈的組織に、既存の保健推進員を「心の健康づくりの協力者」とし、一方、健康づくりに関心の強い歩け歩け運動の仲間たち、ジョギングの友だち、スポーツグループ、ゲートボールや唄・踊りの会など、さまざまな形で健康づくりにいそ



▲保健婦の補佐役として、活躍する保健推進員



▲リポーターの健康づくりはバドミントン(左から4人目)



厳寒の夜 ダイナミックな湯かけ合戦 第24回 湯まつり

2月3日・4日行われた登別温泉湯まつり。アイスキャンドルや氷中花で飾られた温泉街を湯鬼神たちが厄を払いながら練り歩きました。メイン会場の登別バラダイス前の広場では郷土芸能「湯鬼神かくら」「子宝もちつき舞」が披露され、甘酒やつきたてのもちが振る舞われました。祭りのフィナーレは4日の夜に行われた「湯かけ合戦」です。約300人を越える観衆が見守る中、下帯一枚の若者約80人がダイナミックに湯をかけ合う姿と立ちのぼる湯煙がムードを盛り上げ、観光客の飛び入りもあり、祭りは最高潮。歓声もひときわ大きく夜の温泉街に響いていました。



▲下帯1枚の若者による勇壮な湯かけ合戦

私が見た登別

祭っていうモンは
参加するモンです



ありたしょうじ
有田紹二さん
(登別東町・24歳)



—いつ、どちらから登別に
平成5年4月に、就職のため
生まれ育った大阪府枚方市から
一枚方市はどんな所ですか
大阪市と京都市の中間に位置
するベッドタウンです。有名な
のは遊園地「枚方パーク」の菊
入形。毎年秋には、等身大の動
く人形が、菊の花で作られた衣
装を着て200体も登場しますよ。
—登別を知っていましたか
有名な観光地だとは知ってい
ましたが、北海道イコール道東
の雄大な大自然のイメージがあ

ったので、たばこを買いに行く
のに1、2時間もかかる所と想
像していました(笑)。
—登別に住んだ印象は
空が澄んでいてきれい。枚方
はスモッグの曇り空。きれいな
青空をこっちで初めて見ました。
こちらで川釣りを初めてしま
した。大自然に囲まれた川の上
流で、ヤマベとかを釣ると北海
道らしさをすごく感じますね。
—そのほか何か
登別に来たおかげで、地獄ま
つり、湯まつりに参加し、生ま
れて初めて、おみこしをかつい
だり、フンドシをしめることが
できました。祭っていうモンは、
見るモンでなく参加するモンだ
とつくづく思いました。初対面
の人達との連帯感も生まれます
しね。いまじゃ大阪弁もすっか
り取れ「北海道弁しかしやべれ
なくなっちゃったべー」(笑)。

1月29日、幌別川で水鳥ウォッチングが行われました。主催は、「登別の野鳥たち」のコーナーで毎月私たちを楽しませているヨシキリの会です。オオハクチヨウのほかマガモなどたくさん鳥たちが飛来している冬の幌別川の様子を楽しんでもらおうと企画されました。
参加者は、ちらちらと雪が舞うこの日、ふだん見られない珍しいキンクロハジロ、オナガガモなど約20種類の野鳥をウォッチング。ヨシキリの会のメンバーの分かりやすい説明を聞きながら、双眼鏡をのぞき、楽しい冬のひとときを過ごしました。

幌別川 水鳥ウォッチング



▲厳寒の中、双眼鏡をのぞき鳥たちをウォッチング



2月11日、川上公園で第6回ふるさと冬まつり（ふるさと広場実行委員会が主催）が行われ、大勢の市民が冬の楽しい一日を過ごしました。このまつりは、市民にふるさと意識を高めてもらおうと平成2年から行われています。

絶好のまつり日和となったこの日、会場には大勢の家族連れが集まり、寒中ラジオ体操で体をほぐした後まつりがスタート。滑り台やかまくら、雪上綱引きやミカン拾い、ジャンボ豆まきの催しなど公園内は大きな歓声に包まれました。このほか、郷土資料館のボランティアが作成した250枚、500枚の連だこが青空に舞い上がり、見物客の拍手を浴びていました。



▲ちびっ子は滑り台に大はしゃぎ

家族そろって 雪中あそび ふるさと冬まつり



▲寝返りのさせ方など家庭介護の実習を学んだ講習会

愛情をもってお世話を 日赤家庭看護法講習会

2月7日、しんた21（総合福祉センター）で赤十字家庭看護法講習会が開かれました。毎年この時期に、日赤登別市地区が主催するこの講習会には、主婦や日赤奉仕団員、ボランティア団体の会員など35名が参加して、寝たきりのお年寄りの介護法などを学びました。

伊達日赤病院の看護婦で赤十字看護教師の藤田よし子さんを講師に、午前中は介護の心づかいなどを受講。午後からは、シーツや寝間着の取り替え方などを一人ひとりが実習しました。参加者の中には、実際に家庭でお年寄りの世話をしている人もおり、みんな真剣な表情で学んでいました。

キッチン木曜会は、昭和59年市の料理教室の受講者で結成した料理作りのサークルです。

15名の会員が安い材料を使っておいしくしかも栄養のある料理作りをモットーに第2・第4の木曜日に婦人センターで活動しています。

第2木曜日は講師の石川幸子さん（常盤町在住）が考えた献立をつくり、第4木曜日は会員が考えた献立を作りま

す。「野菜ひとつでも色々な食べ方があります。会員のみなさんからの希望を聞いて工夫しながら献立を考えます」と石川さん。

代表の鈴木ミサさんは「習ったらすぐ家で作ります。毎日の料理作りのヒントにもなりますし、レパートリーが広がって家族にも好評です」と、にっこり。

サークルに入って8年目になる鈴木暢余さんは「ここで習ったことを基本に、家では冷蔵庫にある材料を足すなど、応用して作っています。毎日のおかずづくりがおくうでなくなりまし

仲間たち

毎日のおかずづくりが
おっくうでなくなりました



キッチン木曜会

代表 鈴木 ミサさん

(☎ 83 3386)

きらり

最多利用
 した21トレニンググループ



坂本 富雄 さん
 (富士町・77歳)

「しんた21のトレニンググループは、オーブン以来多くのおみなさんに利用され、昨年10月には総利用者が4千人を越えました。その中で、利用回数が100回を越えトップ、しかも常連利用者の中で最高齢という坂本さんに話を聞きました。」

「トレニングする目的はなんですか」

「一番の目的は、寝たきりになって子供や孫に迷惑をかけたくないということ。少しでも体力をつけて老化を抑え、迷惑をかけるのを遅くしたいという気持ちです」

「一日にどれくらい運動するんですか」

「一日の運動量を、1万歩歩いたのと同じくらいと決めてはいるんです。しんたがでる前は、市内を1時間半ぐらい歩いていました。それが約1万歩なんです」

「100回も通うとはすごいですね」

「歩くのは朝なので、冬期間は暗いし、雪が降った日や夏の悪天候の日は歩きづらいですよね。でもしんただと、天候に関係なく運動ができるので年中通うようになったんです。いつの間にか100回も通ってたんですね(笑)」

「毎日続けるのは大変ですね」

「それがね、やってみるといいものなんです。終わった後のそう快きは、ほかに比べようがないくらい最高の気分ですね。」

「りには体がスーッと軽くなっていますよ。人と出会うのも楽しみの一つですね。歩く時も、最初は一人でもくもくと歩いていましたけど、そのうち知り合いも増えてね。今はみんなと楽しく歩いていますよ」

「トレニンググループは年配の方の利用が少ないみたいですね」

「そうですね、30・40代がほとんどで年配者が少なく寂しいですね。年配の方は冬期間、運動する機会が少ないですよ。みなさんどうされてるんでしょうかね」

「最後に健康の秘けつを教えてください」

「自分に合った運動量で毎日続けることと人のアドバイスを聞く耳を持つことですね」

坂本さんはトレ

ニングはももち

ろん続けて行くそ

うですが、水墨画

などにも新たにチ

ャレンジしている

そうです。充実し

た毎日を送ってい

る坂本さんの目は

いきいきとしてい

て、きらりと輝い

ていました。



▲最新のマシンを使い、汗を流す坂本さん。

友達の輪

わが家の自慢

せん 柳



はたけ やま よし はる
 富山 義晴 さん
 (登別本町・83歳)

日中の寒さが少しゆるんだ2月上旬、富山義晴さん宅を訪問した。

出迎えてくれた富山さんは、とても気さくそうな感じの方。

書斎へと案内され、まず驚いたのは棚に並んでいるトロフィーや盾の数。これは富山さんが川柳の創作活動で受賞したものだ。その数の多さからも富山さんの川柳への情熱が感じられる。

富山さんは「登別川柳社」が発行している川柳同人誌「川柳のほりべつ」の編集を昭和47年の創立以来手掛けていている。

それまでは自分一人の趣味だった川柳が、「川柳のほりべつ」という、発表する場ができたことでその創作活動はますます本格的になり、今では一日のほとんどを川柳に

かかわって過ごすほどだという。

川柳の話をしている時の富山さんの目は、20代の若者のように輝いていて、とても83歳とは思えないほどだった。

「テレビのお笑い番組などでワハハと笑うことはあっても、クスッという笑いが最近は無くなりましたね。それが川柳にはあるんです」と、笑いながら話してくれた。

富山さんの自慢の句を2句紹介します。休みたい 朝も弁当 出来ている

手のひらに 生き抜いて来た 地図がある

富 虹児 作
 (市民リポーター 兼子浩二)
 今回は、牧本敦子さん(若草町)です。



▲すぐ手のとどく所に辞書や資料が、そろっている。まるで川柳のための書斎。

となりまち ホットライン

室蘭市

青い目の人形を展示
～民俗資料館戦後

50年記念企画展～

昭和の初め親善を目的に、日本とアメリカで人形の交換が行われました。アメリカからは「青い目の人形」が日本各地の学校に贈られ、室蘭市内の小学校などにも12個の人形が贈られました。

この時に贈られた人形のほとんどが消失しましたが、この度、1個が発見され同資料館に寄贈されました。この貴重な人形と併せて、大正・昭和のひな人形を展示します。ぜひ、ご覧になってください。

▷期間 3月1日(水)～31日(金)

▷場所 民俗資料館

▷時間 9:00～17:00

▷休館日 毎週月曜日と祝日の翌日

▷入館料 大人250円・子供60円

▷問い合わせ 民俗資料館(☎594922)



伊達市

笑いど
人情たっぷり
伊奈かっぺい講演会



芸術文化を支援する市民のボランティア組織「伊達メセナ協会」は、伊奈かっぺいさんを招いて文化講演会を開きます。ユーモアに富んだ津軽弁まじりの語りを、ぜひお楽しみください。(入場は無料)

▷日時 3月25日(土)19時開演

▷場所 カルチャーセンター大ホール

▷定員 1,044人(定員を超えた場合は抽選)

▷申込期限 3月10日(金)当日消印有効

▷申込方法 往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号を記入して申込先へ(1人1通に限ります)

▷申込先・問い合わせ 伊達メセナ協会事務局(〒052伊達市松ヶ枝町34-1・カルチャーセンター内☎0142☎21515)

阪神大震災義援金

2月20日現在 223件 20,001,372円

広がる善意の輪

1月17日の早朝に発生した兵庫県南部地震は、多数の死傷者や建造物破壊など大きな被害が出る大災害となりました。

各地でこの災害に対する善意の輪が広がっており、市内でも職場や学校、地域で「自分たちのできることを」と、義援金の街頭募金やバザーなどが行われています。

登別市婦人団体連絡協議会は、市内の各団体と実行委員会をつくり「阪神大震災義援バザー」を開催、幌別中学校生徒会は中央町の登別中央ショッピングセンター・

アーニス前で街頭募金活動、幌別西小学校は児童会が中心となり義援金、ノートや鉛筆など文房具類を集め、段ボール箱8個分を被災地に送りました。

このほか、新栄町にあるブレハブ工事業「貝澤組」の社員10人が被災者住宅建設に、陸上自衛隊幌別駐屯地からは隊員70名が倒壊家屋の処理に、市からは水道部工務課の斎藤雅晴量水器係長が水道復旧活動のために現地入りするなど、支援の輪が広がっています。

また、市民のみなさんから寄せ



られた義援金は、2月20日現在で22件2万1,372円になりました。義援金は、4月17日まで日赤登別市地区事務局(市役所社会福祉課内)と各支所で受け付けています。

▽問い合わせ 日赤登別市地区事務局(社会福祉課内☎191)

フレッシュ

ボイス

昨年12月9日にオープンした中央町にある「アーニス」で、ショッピングの総合案内をしてくれる尚子さん。店内一階のアーニス広場に面したサービスカウンターで、迷子やお客様の呼び出し放送、商品券販売などを行っています。

「オープン当時は、迷子の放送がうまくできず、お客様に迷惑をかけることもありましたが、最近ではお客様と笑顔で自然に接することができるようになりました」と、明るくほほ笑みながら話してくれました。

休日には、ドライブやショッピングを楽しんでいるが、友達と休日が違うのになかなか会えないのが悩みとか。

くどうなこ
工藤尚子さん(幌別町・21歳★しし座★) アーニス勤務(協同組合登別中央ショッピングセンター)





いっしょになっても 生涯学習

歌おう

いっしょにハーモニー

同じ趣味や興味を持つ人が集まって行うさまざまなグループ活動も生涯学習のひとつです。

市内には5つの女声コーラスグループがあり活動しています。その中で最も歴史の古い「登別女声コーラスMFC」の活動を紹介いたします。



練習は、隔週の月・木曜日の午後7時から市民会館で行っています。演奏会が

◆ ◆ ◆
同グループは、昭和40年公民館講座「お母さんコーラス」の受講者を中心に結成され、今年30周年を迎えます。
◆ ◆ ◆
同員の在籍年数は、長い人で20年余り、新しい人で2、3年です。家庭の主婦が中心の団体なので、この30年の間には、ご主人の転勤や家庭の事情で心ならず退団していった人や、一度退団したのに歌う喜びを忘れられず、もう一度歌いたいと復帰した人など、団員の入れ替わりがありました。心を合わせてハーモニーを守り続けています。



登別女声コーラス
MFC(エム・エフ・シー)

近づくと思う強化練習には、家事のやり繰りに苦勞しながら参加します。

◆ ◆ ◆
昨年、函館市で行われた全日本お母さんコーラスコンクール北海道支部大会、例年市民会館で行われる合唱の集い、年末のチャリティー演芸会などに出演しました。

◆ ◆ ◆
団員の皆さんは「このころようやく歌う楽しみが分かるようになりました。歌うことは、気持ちも身体も表情も若返らせました。今は団員が少ないのが悩みですが、団員を募って盛大な記念行事としたいです」と、団員の加入を呼びかけています。

(生涯教育推進室)

先月号の文中で千葉弦人さんとあるのは千葉辰男さんの誤りでした。おわびして訂正します。

鬼大使 FAX 通信...⑩



あらい こうじ
荒井洸子さん
(東京都世田谷区在住)
(プロフィール)
女優・シャンソン歌手。
日高管内門別町生まれ、
幌中、室栄高卒業後、新日
鉄勤務を経て上京。平成4年11
月から登別市ふるさと大使。

ミュージカル「回転木馬」に出演

「阪神大震災」本当に人ごとではありません。私も北海道で二度大きな地震を体験しています。一度目は、まだ小学校に入学する前でしたから、40年以上前に住んでいた日高門別で。二度目は、幌別から通勤していた室蘭の会社ででした。両方とも十勝沖地震だったと記憶しております。大都会は二次災害・三次災害も大変です。今回の地震で、関西での劇場公演が中止になった私の友人も、東京へ帰るのにとても苦勞したようです。さて私は、今年5月から9月まで、東京の帝国劇場でミュージカル「回転木馬」に出演します。この作品は、スタッフが全員ロンドンから来て作ります。厳しいオーディションがあり、最終審査は、唄・踊り・芝居等をビデオテープに撮ってイギリスに送り、プロデューサーと演出家がそれを見てキャストイングするという物々しさですので、無名でも実力のある俳優がビツグな役を演じる舞台になります。登別の皆様にも見ていただきたいのですが、なにしろ大所帯ですのでなかなか北海道まで伺えないのが残念です。
5か月間も上演しておりますので、東京にいらした時には、ぜひ帝劇に寄っていただきたいと思っております。



▲「回転木馬」のメインキャスト

知里博士にかかわる「聞きとり調査」をさらに進めてみたい。

「知里真志保の父である高吉さんは、登別温泉の開拓者滝本金蔵の建てた『湯本の滝本』で少年時代に奉公し努力した人。数学的能力や生活意識も高かった。だから、もとは自分たちのものであった山林や土地の払い下げを政府から受けて最後まで手離すこともなく持っていた。当時の登別の部落（登別本町）は貧しい人も多く、家は原木を縄で縛り、屋根・外壁はドンガイ

（イタドリ）や葦で囲った家が多い中で、知里さんの家は木造建て、縁側のあった立派な家であった」。昭和49年、故鈴木島一郎氏当時82歳のお話である。父の高吉さんは、明治17年（1884）生れ。今年で100年を迎えた明治25年開校の登別小学校第一期卒業生である。

登別温泉と登別の草分けと言われる滝本金蔵・さた夫妻のもとで奉公した苦勞人なので、経済的にも明るく、現在の登別本町2丁目の登別川沿いに近い栗の大木の繁った所に、書院風の窓・床の間や

郷土史 点描

58

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

知里真志保を訪ねて(2)

生い立ち・中学校受験

縁側のある立派な家に住んでいた。母のナミさんは、著名なユーカーの伝承者金成マツの妹で、英人宣教師ジョン・パチエラーのすすめて姉のマツとともに、函館の聖公会アイヌ伝導学校に学び優秀な成績を残している。

従って、家庭の生活も進歩的で姉の幸恵は旭川区立職業学校・兄の高央も室蘭商業から小樽商業専門学校（小樽商大）と、



▲真志保が学んだ大正から昭和9年ごろの登別小学校校舎

当時、登別から室蘭駅までの汽車通学は、ヤマ方面（ヤマセ風・東風の吹く太平洋岸で、東室蘭から登別・白老・苫小牧地方）伊達方面などというって、通学区域の仲間意識も強く、5年生

清一氏当時69歳。真志保は、登別小学校卒業後、まもなく、叔母金成マツのいる旭川へ行き、北海道庁立旭川中学校を受験したが落ちてしまう。

姉の幸恵も「性格は善良、学業も優等、また勤勉であるので賞品を授与する」と、旭川尋常小学校で特別の賞状を受けていたにもかかわらず、庁立旭川女学校を受験して不合格になった。成績は、良好であったという。

統率するので、人間関係では問題はなかったが、輪西・母恋・室蘭方面など地域を異にした当時のくちさがない蛮カラ連中の視線でいやな思いもあったらしい。登校中の車中はみんな勉強しているが、知里さんには余裕があったように思う。なにしろ、級長であったし3年生のころは下級生の座席に行つて特に英語・数学を教えて、冗談をいって

は笑わせていたようだ。しかし、時には急に黙り込んで無愛想になることもあった。優秀なだけに、上級学校進学のことを思い、経済的に悩み深く考えていたのではな

いだろうか。昭和49年、故宮武

その後、旭川の北門小学校高等科に入学したが、栄光に輝く軍隊の町旭川に見切りをつけ、高等科2年の時登別小学校に転入学、卒業と同時に室蘭中学校を受験する。新入生150人中3位という優秀な成績であった。

「大正13年ころの室中通学時代、知里さんは英語・数学がよくできた。そのころの学校生活は、上級生と下級生の区別が厳格で下級生は絶対服従、全員同じ列車に乗り、

語・数学を教えて、冗談をいって笑わせていたようだ。しかし、時には急に黙り込んで無愛想になることもあった。優秀なだけに、上級学校進学のことを思い、経済的に悩み深く考えていたのではな

いだろうか。昭和49年、故宮武

まちかどぶらり



しんた21「ふれあひ広場」

片倉町

昨年12月末に完成したふれあい広場。総合福祉センター・しんた21を訪れる利用者の交流の場所となるよう建物の裏側の敷地を造成。広場内にはゲートボール場2面、花壇や芝生広場、屋外トイレを設置。公園内を

巡る一周250mの散策路には休憩ができるように木製ベンチが4台、童謡の歌詞が書かれたスツール(腰掛け)6台が置かれています。広場の利用は4月末ころの予定です。

人のうごき

- 人口 57,395(+118)
 - 世帯 22,353(+1,297)
- ()は前月比

平成7年1月末日現在

鳥名 キレンジャク
観察時期 2月から5月上旬



[文・写真提供 日本野鳥の会会員ヨシキリの会]

野鳥の園でヒヨウキン者と評判の東京港野鳥公園の安西レンジャーが、スライドを使って僕たち野鳥のやさしいお話をします。3月19日(日)18時から、市民会館に来てね。問い合わせは伴野さん ☎0575-1515へね。

野鳥の園でヒヨウキン者と評判の東京港野鳥公園の安西レンジャーが、スライドを使って僕たち野鳥のやさしいお話をします。3月19日(日)18時から、市民会館に来てね。問い合わせは伴野さん ☎0575-1515へね。

野鳥の園でヒヨウキン者と評判の東京港野鳥公園の安西レンジャーが、スライドを使って僕たち野鳥のやさしいお話をします。3月19日(日)18時から、市民会館に来てね。問い合わせは伴野さん ☎0575-1515へね。



この広報紙は再生紙を使用しています。